

HP xw シリーズ ワークステーション

セットアップとトラブルシューティング ガイド



著作権情報

© 2006 Copyright Hewlett-Packard Development Company, L.P.

第 1 版：2006 年 7 月

製品番号: 361756-295

保証

本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して、また本書の供給、機能または使用に関連して生じた付随的障害、派生的障害または間接的損害についても、責任を負いかねますのでご了承ください。本書の内容はそのままの状態を提供されるもので、いかなる保証(商品性および特定の目的のための適合性に関する黙示の保証を含む)も与えるものではありません。また、本書の内容は将来予告なしに変更されることがあります。HP 製品の保証については、当該製品に付属する明示的な限定保証書に記載されています。

ここに記載する内容は追加保証の一部とは見なされません。

本書には著作権によって保護される機密情報が含まれています。本書のいかなる部分も、Hewlett-Packard の事前の書面による承諾なしに複写、複製、あるいは他の言語に翻訳することはできません。

商標表示

HP Invent のロゴは米国およびその他の国/地域における Hewlett-Packard Company の商標です。

Microsoft と Windows は米国およびその他の国/地域における Microsoft Corporation の商標です。

Red Hat は Red Hat, Inc. の登録商標です。

Linux は Linus Torvalds の登録商標です。

Intel は米国およびその他の国/地域における Intel Corporation の登録商標で、ライセンス契約に従って使用されます。

Acrobat と Acrobat Reader は Adobe Systems Incorporated の商標です。

Energy Star は United States Environmental Protection Agency の米国における登録商標です。

目次

1 HP リソースの参照場所

2 ハードウェアのセットアップ

クイック セットアップ	3
通気、COA ラベル、シリアル番号ラベルに関する情報	4
フロント パネルとリア パネルのコンポーネント	5
フロント パネルのコンポーネント	5
リア パネルのコンポーネント	6

3 オペレーティング システムのセットアップ ソフトウェア

Microsoft® Windows® 用ソフトウェアのセットアップ	7
Windows オペレーティング システムの復元	7
RestorePlus! プロセス	8
RestorePlus! CD の作成	8
RestorePlus! CD を使用する復元	8
リカバリ パーティション上の RestorePlus! からの復元	8
HP Backup and Recovery Manager の復元ポイント	8
リカバリ パーティションのハード ディスク領域の解放	9
バックアップ ソフトウェアの注文	9
Linux 用ソフトウェアのセットアップ	9
Linux プレインストール ワークステーションのインストールとカスタマイズ	9
Linux オペレーティング システムの起動	10
Linux オペレーティング システムの復元	10
最新の HP Driver CD のダウンロード	10
HP ドライバ CD のインストール	10
Linux 対応ワークステーションのインストールとカスタマイズ	10
ハードウェア互換性の確認	11
Linux オペレーティング システムのインストール	11
Red Hat の有効化	11
初回ブート後の確認	11
BIOS のアップグレード	12
デバイス ドライバのアップグレード	12

4 トラブルシューティング

セルフ トラブルシューティング	13
HP Insight Diagnostics	13
HP トラブルシューティングのリソースとツール	13
HP Help and Support Center	13

E サポート	14
Troubleshoot a Problem	14
Instant Support/Active Chat	14
Customer Advisory	14
Product Change Notification (製品変更通知)	15
役に立つヒント	15
起動時	15
操作中	15
モニタ ディスプレイのカスタマイズ	16
Power-On Self Test (POST) のエラー メッセージ	16
基本的なトラブルシューティング	17
一般的な問題	17
ハードウェアの取り付けに関する問題	19
診断ランプとビープ音の意味	20
テクニカル サポートへのお問い合わせ	24

1 HP リソースの参照場所

次の表に、製品に関する情報が含まれている追加リソースを示します。

表 1-1 HP リソースの参照場所

ヘルプが必要な項目	参照場所
HP Cool Tools に関する情報	<p>大半の HP ワークステーションには、システムを最初に起動したときに自動的にインストールされる追加のソフトウェアが事前にロードされています。さらに、ワークステーションの操作性を向上させる貴重なツールが多数プレインストールされています。これらのアプリケーションの詳細やアクセス方法を確認するには、以下の手順に従ってください。</p> <ul style="list-style-type: none">• デスクトップの [HP Cool Tools] アイコンをクリックするか、• [スタート] > [すべてのプログラム] > [HP Cool Tools] の順に選択して HP Cool Tools フォルダを開きます。 <p>アプリケーションの詳細を確認するには、[HP Cool Tools] – [Learn More (詳細を見る)] の順にクリックします。</p> <p>アプリケーションをインストールまたは起動するには、そのアプリケーションをクリックします。</p>
追加情報	<p>テクニカル サポート情報にオンラインでアクセスするには、http://www.hp.com/support をご覧ください。サポート リソースには、Web ベースのトラブルシューティング ツール、技術情報ベース、ドライバやパッチのダウンロード、オンライン コミュニティ、障害予測通知サービスなどがあります。</p>
HP のユーザー マニュアル、ホワイトペーパー、サードパーティのドキュメント	<p>最新のオンライン マニュアルは http://www.hp.com/support/workstation_manuals から入手できます。</p>
規制に関する情報	<p>製品のクラス情報については、Documentation and Diagnostics CD の『Safety & Regulatory Information (安全と規制に関する情報)』ガイドを参照してください。また、シャーシにあるラベルにもクラス情報が記載されています。</p>
部品およびアクセサリ	<p>サポートしているアクセサリとコンポーネントの最新情報については、http://partsurfer.hp.com をご覧ください。</p>
Documentation and Diagnostics CD の内容	<p>文書化ツールまたは診断ツールとして CD を使用方法については、CD の説明を参照してください。</p> <p>Documentation and Diagnostics CD には以下のものが含まれます。</p> <ul style="list-style-type: none">• この『セットアップとトラブルシューティング』ガイドのコピー• 最新の『Service and Technical Reference (サービスおよび技術リファレンス)』ガイドへのリンク• 『Safety and Comfort (安全性と快適な操作)』ガイドのコピー• 『Safety & Regulatory Information (安全性と規制に関する情報)』ガイドのコピー

表 1-1 HP リソースの参照場所 (続き)

ヘルプが必要な項目	参照場所
	<ul style="list-style-type: none"> ● HP Insight Diagnostics ユーティリティ ● タスクに固有の説明
製品に関する通知の登録	Subscriber's Choice は HP プログラムの 1 つで、ドライバとソフトウェアに関する警告、障害予測通知 (PCN)、HP ニュースレター、顧客アドバイスなどを受け取るための登録ができます。 http://www.hp.com/go/subscriberschoice でさっそく登録してください。
ワークステーションの QuickSpecs	Product Bulletin には HP ワークステーションの QuickSpecs が含まれています。QuickSpecs は、ご使用の製品全体の仕様の概要について説明します。オペレーティング システム、電源、メモリ、プロセッサやその他多くのシステム コンポーネントの情報や機能が含まれます。QuickSpecs にアクセスするには、 http://www.hp.com/go/productbulletin をご覧ください。
保証に関する情報	各システムには保証書が同梱されています。保証については、Web サイトで各製品の [Warranty Information (保証情報)] リンクをクリックするか、 http://www.hp.com/support/warranty-lookuptool にアクセスして、システムに適用される保証を検索してください。
システム ボードに関する情報	アクセス パネルの内側にシステム ボードのレイアウト図が示されています。さらに、Documentation and Diagnostics CD または Web の http://www.hp.com/support/workstation_manuals にある『Service and Technical Reference Guide (サービスおよびテクニカル リファレンス ガイド)』にも追加情報が掲載されています。
診断ツール	Documentation and Diagnostics CD には HP Insight Diagnostics ユーティリティが含まれています。このユーティリティを使用するには、「 HP Insight Diagnostics 」を参照してください。
最新の BIOS とドライバの入手場所	http://www.hp.com/go/workstationsupport にアクセスして最新のドライバを確認してください。
ビープ音と LED コードの意味	ワークステーションに適用されるビープ音と LED の詳細については、「 診断ランプとビープ音の意味 」を参照してください。
シリアル番号と Certificate of Authenticity (COA) ラベルの場所 (該当する場合)	シリアル番号ラベルは、ワークステーションのトップ パネルまたは側面のパネルと背面側に貼られています。COA ラベルは通常、トップ パネルか側面パネルのシリアル番号ラベルの近くにありま。詳細については、「 通気、COA ラベル、シリアル番号ラベルに関する情報 」を参照してください。
オペレーティング システムの再インストール	オペレーティング システムのロードの詳細については、「 Microsoft® Windows® 用ソフトウェアのセットアップ 」または「 Linux 用ソフトウェアのセットアップ 」を参照してください。
デスクトップの問題解決に使用する Web ベース サポート ツールへのアクセス	サポートを受ける方法の詳細については、「 Instant Support/Active Chat 」を参照してください。
HP のテクニカル サポート窓口への問い合わせ方法	<p>テクニカル サポートに電話をかける前に、「セルフトラブルシューティング」を参照してください。電話でのサポートを容易にするために、「テクニカル サポートへのお問い合わせ」に記載されている電話をかける前に必要な情報のリストを確認してください。</p> <p>米国およびカナダの場合は、1-800-HPINVENT までお電話ください。</p> <p>世界各地のテクニカル サポートの電話番号を調べるには、http://www.hp.com/support にアクセスして国/地域を選択し、左上の [Contact HP] (HP へのお問い合わせ) をクリックしてください。</p>

2 ハードウェアのセットアップ

クイック セットアップ

1. HP ワークステーションを開梱した後、システムの設置場所を決め、ワークステーションにマウス、キーボード、および電源ケーブルを接続します。ワークステーションの電源ケーブルをコンセントに差し込みます。

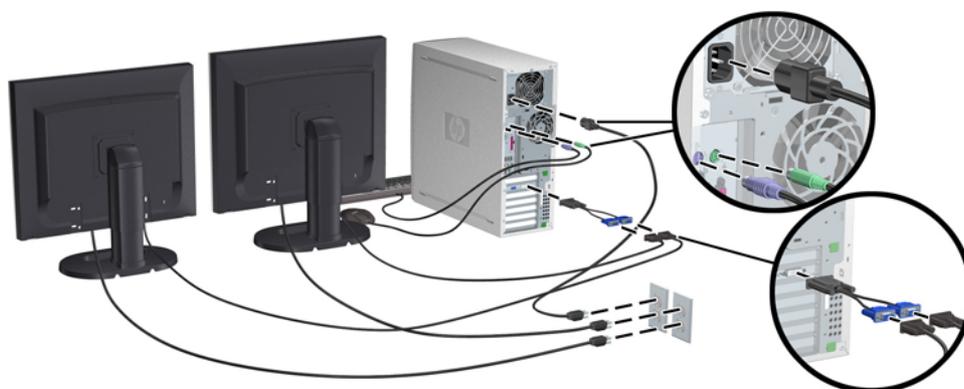


図 2-1 ワークステーションのセットアップ



注記 デバイスに付属の説明書に従って、プリンタなどの他のコンポーネントを接続します。HP ワークステーションの詳細については、*Documentation and Diagnostics CD* を参照するか、<http://www.hp.com/go/workstationsupport> にアクセスしてください。

2. モニタのケーブルを dongle に接続し、上の図に従って dongle をグラフィックス カードに接続します (モニター 1 台だけ、または 2 つ出力があるグラフィックス カードを使用している場合は、dongle は要らない可能性があります)。モニタの電源ケーブルをコンセントに差し込みます。モニタのケーブルをケーブル コネクタに接続し、上の図に従ってケーブル コネクタをグラフィックス カードに接続します (モニター 1 台だけ、または 2 つ出力があるグラフィックス カードを使用している場合は、ケーブル コネクタは要らない可能性があります)。モニタの電源ケーブルをコンセントに差し込みます。

通気、COA ラベル、シリアル番号ラベルに関する情報

適度な通気はワークステーションにとって非常に重要です。以下の注記と図を参考に、通気が最大限になるようにシステムを正しく設置します。

- コンピュータは丈夫で、水平な場所で操作します。
- 適度な通気性がある、比較的涼しい場所にコンピュータを設置します。ワークステーションの前後に 15 センチ以上の空間を置きます。キャビネットに入れる場合は、キャビネットの通気をよくして、中の温度が 35° C を超えないようにします。
- 通気口や吸気口をふさいでコンピュータ周辺の通風を遮らないようにしてください。

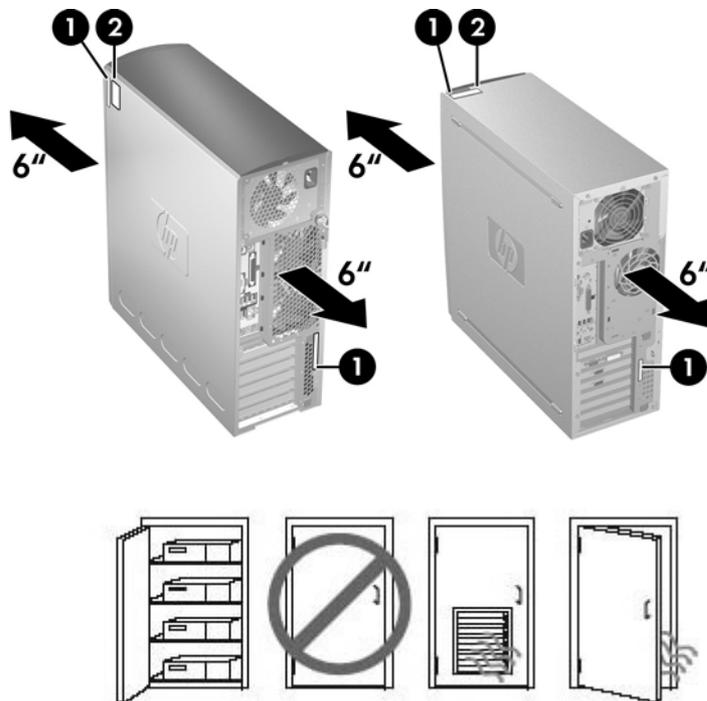


図 2-2 ワークステーションの通気

上の図で示したように、各 HP ワークステーションには、2 つの固有のシリアル番号ラベル 1 と Certificate of Authentication (COA) ラベル 2 (Windows のプレインストールシステムのみ) が付いています。一般的に、シリアル番号ラベルは、ワークステーションのトップパネルまたは側面のパネルと背面側に貼られています。カスタマー サービスに連絡するときは、この番号を用意しておいてください。COA ラベルは通常、ユニットのトップパネルか側面のシリアル番号ラベルの近くにあります。

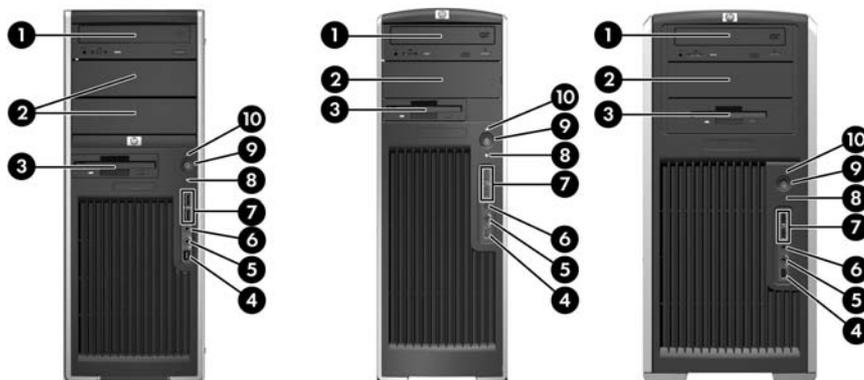


注記 Windows OEM 用 CD (Restore Plus! CD なしのインストール) でオペレーティングシステムを復元しなければならない場合は、Microsoft に連絡して Stock Keeping Unit (SKU) 番号を知らせる必要があります。SKU 情報はサービス タグ上にあり、タグの右下にある OS 製品番号です。これは「OS: XXXXXXX」并表示され、「XXXXXXX」が OS の製品番号です。

フロントパネルとリアパネルのコンポーネント

フロントパネルのコンポーネント

下の図は参考用のみです。お買い上げの HP ワークステーションはこれと異なる場合があります。



xw4000 シリーズ

xw6000 シリーズ

xw8000/xw9000 シリーズ

表 2-1 フロントパネルのコンポーネント*

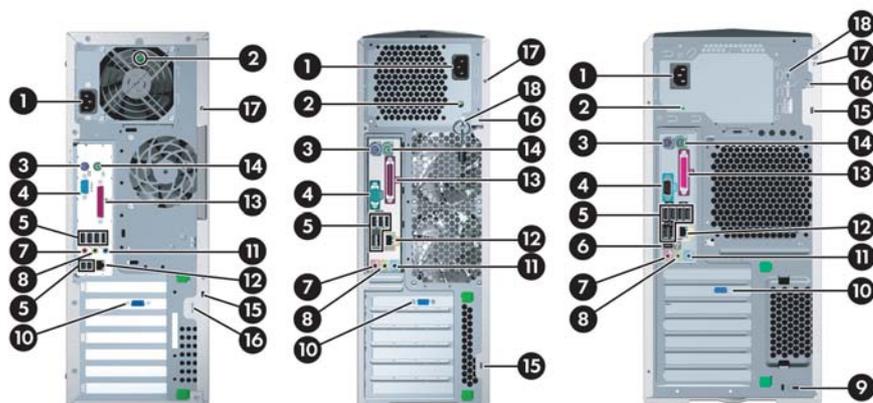
項目	記号	説明	項目	記号	説明
1		オプティカルドライブ	6		ヘッドフォン コネクタ
2		5.25 インチ ドライブ ベイ	7		USB 2.0 (Universal Serial Bus) ポート
3		ディスク ドライブ (オプション)	8		ハード ドライブの状態ランプ
4		IEEE-1394a コネクタ**	9		電源ボタン
5		マイク コネクタ	10		電源オン ランプ

* 特定のフロントパネルのコンポーネントに関する情報については、ワークステーションの『Service and Technical Reference Guide (サービスおよびテクニカル リファレンス ガイド)』を参照してください。

** IEEE-1394a は xw4000 および xw6000 シリーズ ワークステーションのオプション機能です。このオプションなしでユニットを購入した場合は、このコネクタにカバーが付いています。

リアパネルのコンポーネント

下の図は参照用のみです。お買い上げの HP ワークステーションはこれと異なる場合があります。



xw4000 シリーズ

xw6000 シリーズ

xw8000/xw9000 シリーズ

表 2-2 リアパネルのコンポーネント*

項目	記号	説明	項目	記号	説明
1		電源コード コネクタ	10		グラフィックス アダプタ
2		ビルトイン自己診断テスト (BIST) LED	11		オーディオ入力コネクタ
3		キーボード コネクタ	12		RJ-45 ネットワーク コネクタ
4		シリアル コネクタ	13		パラレル コネクタ *
5		USB 2.0 ポート	14		マウス コネクタ
6		IEEE-1394a コネクタ	15		ケーブル ロック用スロット
7		マイク コネクタ	16		施錠用ループ
8		オーディオ出力コネクタ	17		ユニバーサル シャーシ クランプ開口部
9		SCSI コネクタまたは MiniSAS 4 ポート コネクタ (オプション)	18		アクセス パネル キー

* 特定のリアパネルのコンポーネントに関する情報については、ワークステーションの『Service and Technical Reference Guide (サービスおよびテクニカルリファレンスガイド)』を参照してください。
リアパネルのコネクタは業界標準アイコンのラベルが付いており、周辺機器を接続しやすいように色分けされています。

3 オペレーティング システムのセットアップソフトウェア

 **注意** オペレーティング システムのインストールが正常に完了するまでは、HP ワークステーションにオプションのハードウェアやサードパーティ製のデバイスを追加しないでください。途中でハードウェアを追加すると、エラーが発生して、オペレーティング システムが正しくインストールされない可能性があります。

この項では、OS とソフトウェアをセットアップして、システムに最新の BIOS とドライバがインストールされていることを確認する手順を説明します。

Microsoft® Windows® 用ソフトウェアのセットアップ

ワークステーションの電源を初めて入れると、オペレーティング システムが自動的にインストールされます。このプロセスには、約 5 ～ 10 分かかります。画面に表示される指示に従って、インストールを完了してください。

 **注意** 自動インストール プロセスが始まった後、プロセスが完了するまでワークステーションの電源を切らないでください。インストール中にワークステーションの電源をオフにすると、ワークステーションを実行するソフトウェアが破損したり、正しくインストールされない可能性があります。

 **注記** OS の最初の起動時に言語を選択した後、その言語はハード ドライブでロックインされます。システムを復元すると、ハード ドライブに保存されている言語がリカバリ CD でチェックされ、最初にプレインストールされていた言語のみが復元されます。新しいハード ドライブをインストールした場合や、ディスクに言語が検出されない場合は、指定した言語がリカバリ CD でインストールされます。言語の選択は 64 ビットのオペレーティング システムでは必須ではありません。

オペレーティング システムのインストールと構成に関する詳細は、ワークステーションに付属するオペレーティング システムのマニュアルを参照してください。詳しい情報は、オペレーティング システムのインストール後、オンライン ヘルプ ツールで表示できます。

Windows オペレーティング システムの復元

Windows XP オペレーティング システムをほぼ工場出荷時の状態、またはあらかじめ指定した復元ポイントのシステムの状態に復元する方法がいくつかあります。現在ご使用のシステムには、ハード ドライブ上にリカバリパーティションが設定されています。このパーティションには、次のセクションで説明する復元プロセスに必要なソフトウェアとデータが格納されています。

RestorePlus! プロセス

Windows のオペレーティング システムおよび (システムに実装されて出荷されるデバイスの) デバイス ドライバは、このプロセスで再インストールされます。RestorePlus! プロセスで復元できないアプリケーション ソフトウェアもあります。この場合、適切なアプリケーション CD を使用して、アプリケーション ソフトウェアをインストールする必要があります。Restore Plus! プロセスは、CD またはハード ドライブ上のリカバリ パーティションから実行できます。



注意 オペレーティング システムを復元する前に、データをバックアップしてください。Windows のパーティション上にあるデータはすべて、RestorePlus! プロセスを使用して復元を行うときに削除されます。ただし、システムのドライブ上のリカバリ パーティションとその他のパーティションは影響を受けません。

RestorePlus! CD の作成

CD バーナーがあれば、システムの CD セットを作成できます。最初にシステムをブートするときに、RestorePlus! CD、Windows オペレーティング システム用の CD、HP Backup and Recovery Manager 用の補助 CD を作成するように要求されます (購入したオプションに応じて、その他の CD を追加作成することもできます)。オプションで CD のイメージを別のロケーション (ネットワーク共有など) に移動した後で CD を作成したり、別のシステムから CD を作成することもできます。

RestorePlus! CD を使用する復元

RestorePlus! プロセスを開始するには、RestorePlus! CD からブートして、注意深くオンラインの指示に従ってください。

リカバリ パーティション上の RestorePlus! からの復元

[Emergency Recovery (緊急リカバリ)] メニューから RestorePlus! プロセスを起動するには、下記の手順に従ってください。

1. ワークステーションをブートします。
2. ブート プロセスのプロンプトで **F11** キーを押すと、[Emergency Recovery (緊急リカバリ)] メニューが表示されます。F11 キーのプロンプトはブート プロセス中に一時的に表示されます。
3. [Emergency Recovery (緊急リカバリ)] メニューから **[Recover PC's factory installed operating system (PC の工場出荷時にインストールされていたオペレーティング システムのリカバリ)]**、**[drivers (ドライバ)]**、**[utilities (ユーティリティ)]**、**[applications (アプリケーション)]** を選択します。



注記 この方法で復元できないアプリケーションもあります。

HP Backup and Recovery Manager の復元ポイント

HP Backup and Recovery Manager はワークステーションにプレインストールされています。このソフトウェアを使用すると、システム パーティションのスナップショットである復元ポイントを使用して、システムおよびデータをバックアップおよび復元できます。復元ポイントを使用して、システム パーティションを復元ポイントが作成されたときの状態に戻すことができます。

復元ポイントなど、HP Backup and Recovery Manager の使い方の詳細については、ワークステーションの『Service and Technical Reference Guide (サービスおよびテクニカル リファレンス ガイド)』を参照してください。

リカバリ パーティションのハード ディスク領域の解放

リカバリ パーティションを削除して、ハード ディスク ドライブ領域を解放できます。リカバリ パーティションを削除すると、F11 キーの緊急リカバリ機能は使用できません。リカバリ パーティションのデータを使用したシステムの復元機能は使用できなくなります。リカバリ パーティション内の RestorePlus! メディアは削除されます。RestorePlus! CD セットを作成する機能も使用できなくなります。

ディスク領域を解放するには、リカバリ パーティションのみを削除するか、HP Backup and Recovery Manager アプリケーションを完全にアンインストールします。

- HP Backup & Recovery プログラム フォルダの **[Remove HP Recovery Partition (HP リカバリパーティションの削除)]** を使用して、リカバリ パーティションを削除できます。リカバリ パーティションを削除すると、ユーザー パーティションが拡張されて未使用のハード ドライブ領域が解放され、F11 キーのブート プロンプトが削除されます。HP Backup and Recovery Manager アプリケーションはそのまま残り、データのバックアップと復元に使用できます。
- HP Backup and Recovery Manager アプリケーションは、Windows の **[コントロール パネル]→[プログラムの追加と削除]** ユーティリティを使用してアンインストールできます。この操作により、アプリケーションがアンインストールされ、リカバリ パーティションが削除され、ユーザー パーティションが拡張されて未使用領域が解放され、F11 キーのブート プロンプトが削除されます。アプリケーションをアンインストールすると、データのバックアップとリカバリだけでなく緊急リカバリも使用できなくなります。



注意 リカバリ パーティションの削除、または HP Backup and Recovery Manager アプリケーションのアンインストールを行うと、システムを復元する機能が低下するか、またはその機能を使用できなくなります。

バックアップ ソフトウェアの注文

システム リカバリ用の CD または DVD を作成できない場合は、<http://www.hp.com/support> の製品サポートから HP Restore Plus CD セットを購入できます。



注記 HP でソフトウェアの注文を行う前に、ご使用のワークステーションのシリアル番号を用意してください。

Linux 用ソフトウェアのセットアップ

この項では、HP Linux 対応ワークステーションのインストールとカスタマイズについて説明します。

Linux プレインストール ワークステーションのインストールとカスタマイズ

Linux プレインストール ワークステーションを使用している場合は、この項の説明に従って OS とソフトウェアをセットアップしてください。

ブート プロセスが完了したら、インターネット ブラウザを開くことによって（ブラウザは、デフォルトでワークステーション上の HP ドキュメント ページを表示するように自動的に設定されています）、HP Linux についての詳しい情報を参照することができます。またインターネット ブラウザを使って、Red Hat の Linux Web リンクにアクセスすることもできます（インターネットにアクセスできる環境が必要です）。



注記 Linux プレインストールまたは Linux 対応ワークステーションのセットアップの詳細については、http://www.hp.com/support/workstation_manuals で『HP User Manual for Linux (Linux 用 HP ユーザーマニュアル)』を参照してください。HP と Linux の詳細については、<http://www.hp.com/linux> にアクセスしてください。

Linux オペレーティング システムの起動

HP ワークステーションを最初に起動すると、Red Hat First Boot ユーティリティが表示されます。このプログラムでは、ワークステーションのパスワード、ネットワーク、グラフィックス、時刻、およびキーボード設定を指定することができます。



注意 自動インストールが始まったら、プロセスが完了するまでワークステーションの電源を切らないでください。インストール中にワークステーションの電源をオフにすると、ワークステーションを実行するソフトウェアが破損したり、正しくインストールされない可能性があります。



注記 Linux セットアップ ツールのネットワーク タブで YPBind 機能を有効にするとき、設定を選択して保存し、ユーティリティを終了した後、画面が 15 ~ 30 秒間空白になることがあります。これは正常な状態です。画面の表示が元に戻ると、ブート プロセスが続行します。

Linux オペレーティング システムの復元



注記 Linux OS を復元するには、HP Driver CD および Red Hat ボックス セットが必要です。最新の HP Driver CD をダウンロードして新しい強化機能を入手してください。

事前にロードされた Linux システムでは、**[Red Hat ISO's (Red Hat ISO)]** アイコンをデスクトップで使用できます。このアイコンをクリックして、`/iso` ディレクトリに移動します。このディレクトリには、バイナリおよびソース ISO ファイルが含まれています。また、ワークステーションに同梱されている CD と同じドライバ CD ISO も含まれています。`/iso` ディレクトリの **Readme** ファイルの手順に従って ISO を CD に書き込みます。

ISO を CD に書き込んでバックアップを作成することをお勧めします。

最新の HP Driver CD のダウンロード

最新の HP ドライバ CD を入手するには、『*HP Workstations User Manual for Linux (Linux 用 HP ワークステーションユーザーマニュアル)*』の「Obtaining the HP Installer Kit for Linux from the HP Support Website (HP サポート Web サイトから Linux 用 HP インストーラ キットを入手する方法)」を参照してください。

HP ドライバ CD のインストール

HP ドライバ CD でインストールするには、『*HP Workstations User Manual for Linux*』の「Installing with the HP Installer Kit for Linux (Linux 用 HP インストーラ キットによるインストール)」を参照してください。

Linux 対応ワークステーションのインストールとカスタマイズ

Linux 対応ワークステーションは Linux と一緒にプレインストールされていません。HP Installer Kit for Linux と Red Hat ボックス セットの購入が必要です。インストーラ キットには、HP ワークステーションのハードウェアでの動作が確認されている Red Hat ボックス セットの全バージョンをインストールするのに必要な HP CD が含まれています。

ハードウェア互換性の確認

HP ワークステーションのハードウェアで動作が確認されている Linux バージョンを調べるには、次の手順に従います。

1. http://www.hp.com/support/workstation_manuals にアクセスしてください。
2. ご使用の HP ワークステーションのモデルを選択します。
3. [Hardware Support Matrix for Linux] リンクをクリックします。

Linux オペレーティング システムのインストール

Linux 対応システムに Linux オペレーティング システムをインストールするには、前項の「[Linux オペレーティング システムの復元](#)」と「[Linux オペレーティング システムの起動](#)」を参照してください。



注記 Linux プレインストールまたは Linux 対応のワークステーションのセットアップの詳細については、http://www.hp.com/support/linux_user_manual で『HP User Manual for Linux』を参照してください。HP と Linux の詳細については、<http://www.hp.com/linux> にアクセスしてください。

注記 Linux インストールの詳細については、『HP Installer Kit for Linux』マニュアルを参照してください。

Red Hat の有効化

ワークステーションには、「Activate Your Subscription (サブスクリプションの有効化)」という有効化カードが付属しています。このカードは、Red Hat ネットワークで Linux サブスクリプションを有効化するために必要です。有効化を行うまでは、Red Hat Linux の機能の一部は有効ではありません。

Red Hat Linux を有効化するには、デスクトップの [Activate Your Subscription (サブスクリプションの有効化)] アイコンをクリックします。アイコンをクリックすると、www.redhat.com/activate に移動します。この Web サイトの手順に従い、カードの情報を使用してサブスクリプションを有効化します。

Web に接続後、すぐにサブスクリプションの有効化を行うことをお勧めします。



注記 後で参照できるように、Red Hat の有効化カードをワークステーションの登録カードと共に保管してください。

初回ブート後の確認

HP では、常に HP ワークステーションの機能、性能、信頼性を向上させる新機能の実装に取り組んでいます。ご使用のワークステーションが最新の機能を利用できるように、最新の BIOS、ドライバ、ソフトウェア アップデートなどを定期的にインストールすることをお勧めします。

最初にシステムを起動した後、次の作業を行ってください。

- 最新のシステム BIOS がロードされていることを確認します。手順については、「[BIOS のアップグレード](#)」を参照してください。
- システムに最新のドライバがインストールされていることを確認します。手順については、「[デバイスドライバのアップグレード](#)」を参照してください。
- 入手可能な HP リソースについては、「[HP リソースの参照場所](#)」を参照してください。

また、以下の点も考慮してください。

- <http://www.hp.com/go/subscriberschoice> でドライバの警告を購読してください。

BIOS のアップグレード

初回ブートの後、システムに最新の BIOS がロードされていることを確認することをお勧めします。

システムの現在の BIOS を確認するには、次の手順に従います。

起動中に、画面の右下にプロンプト **F10=setup (セットアップ)** が表示されるのを待ちます。プロンプトが表示されたら、**F10** キーを押して F10 セットアップに切り替えます。F10 セットアップ ユーティリティが表示され、**[File]** (ファイル) > **[System Information]** (システム情報) に BIOS のバージョンが表示されます。HP Web サイトの番号と比較できるように、この番号を書き留めておきます。

入手可能な最新 BIOS を調べるには、<http://www.hp.com/go/workstationsupport> にアクセスします。左側のメニューから **[Download Drivers and Software]** (ドライバとソフトウェアのダウンロード) を選択し、画面の説明に従って、使用中のワークステーションの最新 BIOS を見つけます。

Web サイトの BIOS がシステムのバージョンと同じであれば、これ以上の操作は不要です。

Web サイトの BIOS の方が新しいバージョンであれば、ワークステーションに適切なバージョンをダウンロードします。リリース ノートの説明に従って、インストールを完了します。

デバイス ドライバのアップグレード

プリンタ、ディスプレイ アダプタなどのハードウェア デバイスをインストールするには、オペレーティング システムのインストール後、オペレーティング システムがデバイスの適切なソフトウェア ドライバにアクセスする必要があります。通常、デバイスのドライバは周辺機器に付属する CD で提供されます。

最新ドライバを見つけるには、<http://www.hp.com/go/workstationsupport> にアクセスしてください。左側のメニューから **[Download Drivers and Software]** (ドライバとソフトウェアのダウンロード) を選択し、説明に従ってワークステーションの最新ドライバを見つけてください。

ドライバが見つからない場合は、周辺機器の製造元の Web サイトにアクセスしてください。

4 トラブルシューティング

セルフ トラブルシューティング

この項では、お客様自身がシステムの問題解決に使用できるヘルプ ツールとトラブルシューティングを表にします。

HP Insight Diagnostics

HP Insight Diagnostics は、システムをテストできるオフラインの診断ユーティリティです。このユーティリティを使うと、システムハードウェアをテストしたり、システムのハードウェア構成情報を表示することができます。

HP Insight Diagnostics ユーティリティを使用するには、システムに *Documentation and Diagnostics* CD を挿入して再起動します。画面上のメニュー オプションと指示に従い、テストを開始します。



注記 *Documentation and Diagnostics* CD がない場合は、<http://www.hp.com/go/workstationsupport> にアクセスしてください。左側のメニューから **[Download Drivers and Software]** (ドライバとソフトウェアのダウンロード) を選択し、説明に従ってワークステーションの最新のマニュアルと診断情報を見つけます。

HP Insight Diagnostics の使い方の詳細については、プログラム内から **[Help]** (ヘルプ) タブをクリックするか、http://www.hp.com/support/workstation_manuals の『*Service and Technical Reference Guide* (サービスおよびテクニカル リファレンス ガイド)』を参照してください。

HP トラブルシューティングのリソースとツール

HP Help and Support Center

HP Help and Support Center は、Windows XP Help and Support Center ヘルプ機能を拡張する HP のカスタム ユーザー インタフェースです。このカスタム ユーティリティを使用すると、**[スタート] > [Help and Support Center]** (ヘルプとサポート センター) をクリックして、設定情報など、ご使用の HP ワークステーションに関する特定の情報にアクセスできます。このインタフェースは、ご使用の HP ワークステーションに関連する HP Web サイトへのカスタム ヘルプとサポート リンクも提供しています。



注記 カスタマイズした HP Help and Support Center は Windows XP Professional x64 Edition または Linux では利用できません。

E サポート

オンライン アクセスとサポート リソースには、Web ベースのトラブルシューティング ツール、技術情報データベース、ドライバとパッチのダウンロード、オンライン コミュニティ、障害予測通知サービスなどがあります。

以下のサイトもご利用いただけます。

- <http://www.hp.com>– 役立つ製品情報を提供しています。
- http://www.hp.com/support/workstation_manuals– 最新のオンライン マニュアルを提供しています。
- <http://www.hp.com/go/workstationsupport>– ワークステーションの技術サポート情報を提供しています。
- <http://www.hp.com/support>– 世界各地の技術サポートの電話番号を掲載しています。Web サイトにアクセスして国/地域を選択し、左下の **[Contact HP]** (HP へのお問い合わせ) をクリックして番号にアクセスします。

Troubleshoot a Problem

HP では、ご使用のシステムのトラブルシューティングに役立つ Business Support Center (BSC) を提供しています。BSC は充実したオンライン ツールへのポータルです。BSC にアクセスするには、<http://www.hp.com/go/workstationsupport> をご覧ください。該当する製品のリンクをクリックして製品を選択します。

左側の [Business Support Center (ビジネス サポート センター)] メニュー ウィンドウから **[troubleshoot a problem]** (問題のトラブルシューティング) リンクを選択します。[troubleshoot a problem (問題のトラブルシューティング)] ページの [useful documents (役立つドキュメント)] 領域から適切なリンクを選択します。

Instant Support/Active Chat

HP Instant Support は Web ベースのサポート ツールのセットで、デスクトップ コンピューティング、テープ ストレージ、印刷などに関する問題解決を自動化して加速します。

Active Chat を使用すると、Web を介して HP にサポート チケットを電子的に送信することができます。サポート チケットを送信すると、Active Chat はそのコンピュータに関する情報を収集してオンライン サポート 担当者に転送します。情報の収集には、ご使用のコンピュータの構成にもよりますが、約 30 秒ほどかかります。サポート チケットを送信すると、ケース ID、ユーザーの国/地域におけるサポート時間、対応にかかる推定時間が記載された確認メッセージが返送されます。

HP Instant Support と Active Chat およびその使い方の詳細については、http://www.hp.com/hps/hardware/hw_professional.html の HP にアクセスしてください。



注記 この機能は、Windows XP Professional x64 Edition または Linux では利用できません。

Customer Advisory

Customer Advisory では、お客様のシステムに関する重要な情報を提供します。ご使用のシステムの顧客アドバイスを検索するには、<http://www.hp.com> にアクセスして検索ツールを使用してください。検索効果を最大化するには、「+」記号を使用して有効な単語を検索します。たとえば、xw8200 の顧客アドバイスを検索するには、**+xw8200 + “customer advisory** と入力して **Enter** を押します。特定の単語を除外するには、「-」(マイナス) 記号も使用できます。また、Subscriber's Choice に登録

して、システムに関連する顧客アドバイスを自動的に受け取ることもできます。Subscriber's Choice の登録方法については、「[HP リソースの参照場所](#)」を参照してください。

Product Change Notification（製品変更通知）

Product Change Notification (PCN) は、お客様がご使用になっている製品の変更に関する通知を行います。<http://www.hp.com> にアクセスして、システムに関連する PCN の検索を実行します。検索効果を最大化するには、「+」記号を使用して有効な単語を検索します。たとえば、xw8200 の PCN を検索するには、**+xw8200 +PCN** と入力して **Enter** を押します。特定の単語を除外するには、「-」（マイナス）記号を使用することもできます。また、Subscriber's Choice に登録すると、システムに関連する PCN を自動的に受け取ることができます。Subscriber's Choice の登録方法については、「[HP リソースの参照場所](#)」を参照してください。

役に立つヒント

ワークステーション、モニタ、ソフトウェアなどで、それほど深刻でない問題が見つかった場合は、次の処置に進む前に、以下の一般的なヒントを参照してください。

起動時

- ワークステーションとモニタの電源プラグが、正常に機能しているコンセントに差し込まれていることを確認します。
- ワークステーションの電源を入れる前に、すべてのディスクを取り出します。
- ワークステーションの電源が入っており、緑色の電源ランプが点灯していることを確認します。
- 出荷時にプレインストールされていたオペレーティングシステム以外のオペレーティングシステムをインストールした場合は、ご使用のシステムでサポートされているかどうかを <http://www.hp.com/products/quickspecs> で確認してください。
- モニタの電源が入っており、緑色のモニタ電源ランプが点灯していることを確認します。
- モニタが暗い場合は、モニタの輝度とコントラストを調節します。
- ワークステーションに複数のビデオソースがインストールされており、モニタが 1 台の場合は、一次 VGA アダプタとして選択したソースのモニタコネクタにモニタを接続する必要があります。起動中、他のモニタコネクタは無効になります。モニタがこれらのポートの 1 つに接続している場合は、POST 後に機能しなくなります。デフォルトの VGA ソースは、コンピュータセットアップ (F10) を使って選択できます。

操作中

- ワークステーションの前面にある LED が点滅していないか確認します。LED の点滅は特定のエラーコードを表し、問題を診断する手助けとなります。診断ランプとビープ音の意味については、「[診断ランプとビープ音の意味](#)」を参照してください。
- いずれかのキーを押し続けます。ビープ音が鳴った場合、キーボードは正常に機能しています。
- 接続が緩んでいたり、間違っていたりしないか、すべてのケーブルの接続部を確認します。
- キーボードのいずれかのキーか、電源ボタンを押すことによって、ワークステーションを復帰させます。ワークステーションが一時停止モードのままの場合は、電源ボタンを 4 秒以上押し続けることによって、ワークステーションをシャットダウンします。その後、電源ボタンを再び押して、ワークステーションを再起動します。ワークステーションがシャットダウンしない場合は、電源コードを抜き、数秒経ってから再び差し込みます。ワークステーションが自動的に再起動しない場合は、電源ボタンを押して起動します。

- プラグ アンド プレイ 拡張ボードや他のオプションをインストールした後、ワークステーションを再構成します。構成手順については、「[ハードウェアの取り付けに関する問題](#)」を参照してください。
- 必要なデバイス ドライバがすべてインストールされていることを確認します。たとえば、プリンタを接続した場合は、プリンタ ドライバをインストールする必要があります。
- ネットワーク上で作業している場合は、他のワークステーションで正常に機能しているケーブルを使用してネットワークに接続します。ネットワーク プラグまたはケーブルに問題がある場合があります。
- 最近新しいハードウェアを追加した場合、ハードウェアを取り外してワークステーションが正常に機能することを確認します。
- 最近新しいソフトウェアをインストールした場合、ソフトウェアをアンインストールしてワークステーションが正常に機能することを確認します。
- 画面に何も表示されない場合、利用可能なものがあれば、モニタをワークステーションの異なるビデオ ポートに接続します。または、モニタを正常に動作しているモニタに変更します。
- BIOS をアップグレードします。新しい機能のサポートや問題の修正プログラムが含まれた BIOS の新しいリリースが発表されている可能性があります。
- 詳細については、http://www.hp.com/support/workstation_manuals にある『Service and Technical Reference Guide (サービスおよびテクニカル リファレンス ガイド)』のトラブルシューティングの章を参照してください。

モニタ ディスプレイのカスタマイズ

モニタのモデル、リフレッシュ レート、画面解像度、色設定、フォント サイズ、電力管理設定などは、手動で選択または変更できます。ディスプレイの設定を変更するには、デスクトップを右クリックし、**[Properties]** (プロパティ) をクリックします。詳細は、グラフィックス コントローラ ユーティリティに付属のオンライン ドキュメントまたはモニタに付属のドキュメントを参照してください。

Power-On Self Test (POST) のエラー メッセージ

POST は、システムの電源をオンにしたときに自動的に実行される診断テストです。POST で問題が検出されると、オペレーティング システムの起動前に、サウンド、テキスト、またはその両方のメッセージで通知されます。POST は以下の項目をチェックして、ワークステーションのシステムが正常に機能していることを確認します。

- キーボード
- メモリ モジュール
- ディスケット ドライブ
- 大容量ストレージ デバイスのすべて
- プロセッサ
- コントローラ
- ファン
- 温度センサー
- ケーブル (フロント/リア パネル、オーディオ、USB ポート)

POST のエラー メッセージの詳細は、http://www.hp.com/support/workstation_manuals の『Service and Technical Reference Guide (サービスおよびテクニカル リファレンス ガイド)』でも参照できます。

基本的なトラブルシューティング

この項では、最初のセットアップ プロセスで発生する可能性のある問題に焦点を置きます。その他のトラブルシューティング情報については、http://www.hp.com/support/workstation_manuals の『Service and Technical Reference Guide (サービスおよびテクニカル リファレンス ガイド)』を参照してください。

一般的な問題

この章で説明するような一般的なトラブルは、ご自身で簡単に解決できる場合があります。トラブルが繰り返し発生し、ご自身で解決できない場合、または解決方法の実行に不安がある場合は、HP のサポート窓口にご相談ください。最寄のサポート電話番号のリストを見るには、<http://www.hp.com/support> にアクセスして国/地域を選択し、[Contact HP] (HP へのお問い合わせ) をクリックしてください。

表 4-1 インストール時の一般的な問題

問題	原因	解決策
ワークステーションがロックされており、電源ボタンを押しても電源が切れない。	電源スイッチのソフトウェア制御が機能していません。	電源ボタンを 4 秒以上押し続けて、ワークステーションの電源を切りま す。
ワークステーションが USB キーボードまたはマウスに反応しない。	ワークステーションがスタンバイ モードです。	電源ボタンを押して、スタンバイ モードを解除します。  注意 スタンバイ モードから再開するとき、電源ボタンを 4 秒以上押し続けしないでください。4 秒以上押し続けると、ワークステーションがシャットダウンし、データが失われます。
ワークステーションの日時表示が正しくない。	RTC (Real Time Clock) バッテリを交換する必要がある可能性があります。  注記 ワークステーションをライブの AC コンセントに接続すると、RTC バッテリが長持ちします。	まず、コンピュータ セットアップ (F10) を使って、日時をリセットします。それでも問題が解決しない場合は、RTC バッテリを交換します。新しいバッテリーの装填方法については、『Service and Technical Reference Guide (サービスおよびテクニカル リファレンス ガイド)』を参照するか、RTC バッテリの交換について認定代理店または再販業者に連絡してください。
ワークステーションが周期的に一時停止する。	ネットワーク ドライバがロードされているのに、ネットワーク接続が確立されていません。	ネットワーク接続を確立するか、コンピュータ セットアップ (F10) を使ってネットワーク コントローラを無効に設定します。
キーパッドの矢印キーを使っても、カーソルが動かない。	Num Lock キーがオンになっている可能性があります。	Num Lock キーを押します。Num Lock ライトがオンになっていると、矢印キーが機能しません。Num Lock キーはコンピュータ セットアップ (F10) を使って、無効または有効に設定できます。
ワークステーションのカバー (アクセス パネル) を取り外せない。	(一部のワークステーションに備わっている) ソレノイド カバー ロックが設定されています。	コンピュータ セットアップ (F10) を使って、ソレノイド カバー ロックを解除します。ソレノイド カバー ロック FailSafe Key (ソレノイド カバー ロックを手動で無効に設定するためのデバイス) は HP から入手できます。FailSafe Key は、パスワードを忘れた、停電した、またはワークステーションが故障した場合に必要になります (xw8000/xw9000 シリーズには該当しません)。

表 4-1 インストール時の一般的な問題 (続き)

問題	原因	解決策
	パネルがロックされていません (xw6000/xw8000/xw9000 シリーズ)。	装置の背面にあるキーを使って、パネルのロックを解除します。
パフォーマンスが低下している。	プロセッサの温度が高くなっています。	<ol style="list-style-type: none"> ワークステーション周辺の通気が妨げられていないことを確認します。 ファンが接続され、正しく動作していることを確認します。 プロセッサの放熱板が正しく取り付けられていることを確認します。
	ハード ディスク ドライブがいっぱいです。	ハード ディスク ドライブの空き容量を増やすために、データを別の場所に移動します。
	メモリが両方のチャンネルではなく 1 つのチャンネルにインストールされています。	パフォーマンスを最大化するには、DIMM が一致し、両方のチャンネルにインストールされていることを確認してください。

表 4-1 インストール時の一般的な問題 (続き)

問題	原因	解決策
ワークステーションの電源が入らず、ワークステーションの前面のLEDは点滅していない。	ワークステーションの電源が入りません。	<p> 注意 システムがオフの場合でも、内部コンポーネントの電源が入っている可能性があります。機器の損傷を防ぐため、コンポーネントを取り外す前にワークステーションの電源コードを抜いてください。</p> <p>電源ボタンを4秒より短く押し続けます。ハードディスクドライブLEDが緑色になった場合は、以下の作業を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 拡張カードを1枚ずつ取り外し、再度電源ボタンを4秒より短く押し続けます。 2. システムボードに問題があることが考えられます。HPのサポートまで連絡してください。 <p>または</p> <p>電源ボタンを4秒より短く押し続けます。ハードディスクドライブLEDが緑色にならない場合は、以下の作業を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ワークステーションが、正常に機能しているACコンセントに接続されていることを確認します。 2. アクセスパネルを開き、電源ボタンのハーネスがシステムボードに正しく接続していることを確認します。 3. 電源ケーブルのすべてがシステムボードに正しく接続していることを確認します。 4. 電源の機能を調べます。 <ol style="list-style-type: none"> a. AC電源を切断します。 b. 内部の電源ケーブルすべてをシステムボードから外します。 c. AC電源を差し込みます。 <ul style="list-style-type: none"> ● 電源ファンが回転し、BIST LEDが点灯すれば、電源は機能しています。システムボードに問題があることが考えられます。HPのサポートまで連絡してください。 ● 電源ファンが回転しない場合や、BIST LEDが点灯しない場合は、電源に問題があると考えられます。HPのサポートまで連絡してください。

* BISTについては、ワークステーションの『Service and Technical Reference Guide (サービスおよびテクニカルリファレンスガイド)』を参照してください。

ハードウェアの取り付けに関する問題

追加のオプティカルドライブなど、ハードウェアを追加または除去する場合は、ワークステーションを再構成する必要があります。プラグアンドプレイ対応のデバイスを取り付けた場合は、オペレーティングシステムによっては、自動的にデバイスが認識され、ワークステーションが構成されます。プラグアンドプレイでないデバイスを取り付ける場合は、新しいハードウェアを取り付けた後でワークステーションを再構成する必要があります。

表 4-2 ハードウェアの取り付けに関する問題

問題	考えられる原因	推奨解決策
新しいデバイスがシステムの一部として認識されない。	デバイスが正しく取り付けられていないか、正しく接続されていません。	デバイスが正しくしっかりと接続し、コネクタのピンが曲がっていないことを確認します。
	新しい外付けデバイスのケーブルが緩んでいるか、電源ケーブルが差し込まれていません。	すべてのケーブルが正しく、しっかりと接続されていること、またケーブルまたはコネクタのピンが曲がっていないことを確認します。
	新しい外付けデバイスの電源スイッチが入っていません。	外付けデバイスがワークステーションによって認識されるように、いったんワークステーションの電源を切ってから外付けデバイスの電源を入れ、その後ワークステーションの電源を再び入れます。
	構成の変更を確認するメッセージを承認しませんでした。	ワークステーションを再起動し、変更内容を承認するための手順に従って操作します。
	プラグ アンド プレイのボードを追加したとき、そのデフォルト構成が他のデバイスと競合する場合、ボードが自動的に構成されない可能性があります。	コンピュータ セットアップ (F10) を使って、他のデバイスを再構成するか、無効に設定し、リソースの衝突を解決します。
ワークステーションが起動しない。	アップグレード時に間違ったメモリ モジュールが使用されたか、メモリ モジュールが間違った場所に取り付けられています。	<ol style="list-style-type: none"> ワークステーションに付属のドキュメントで、正しいメモリ モジュールを使用していること、また正しい取り付け方法を確認します。 それでも問題が解決しない場合は、HP のサポート窓口までお問い合わせください。 ビープ音およびワークステーションの前面の LED を観察します。考えられる原因については、「診断ランプとビープ音の意味」を参照してください。
ワークステーションがシャットダウンしない。	正しい手順でシャットダウンする必要があります。	<ol style="list-style-type: none"> オペレーティング システムのソフトウェアを終了します。 電源ボタンを 4 秒間押し続けてワークステーションの電源を手動でオフにします。
		<p> 注意 手動で電源をオフにすると、スタンバイ状態がバイパスされるため、データが消える可能性があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 電源ボタンがオン/オフモードで機能するように設定し直すには、コンピュータ セットアップ (F10) を実行します。 <p>コンピュータ セットアップの使い方の詳細については、<i>Documentation and Diagnostics CD</i> (http://www.hp.com/support/workstation_manuals) のリンクからアクセスできる『<i>Service and Technical Reference Guide (サービスおよびテクニカル リファレンス ガイド)</i>』を参照してください。</p>

診断ランプとビープ音の意味

この項では、POST (Power-On Self-Test)の前または最中に発生する、フロント パネルのランプ (LED) のエラーや操作コードおよびビープ音の意味について説明します。

表 4-3 診断ランプとビープ音の意味

状態	考えられる原因	推奨処置
緑色の電源 LED が点灯している。ビープ音がない。	ワークステーションの電源が入っています。	なし
緑色の電源 LED が 2 秒間隔で点滅する。** ビープ音がない。	ワークステーションが Suspend to RAM モード (一部のモデルのみ) または通常の一時停止モードになっています。	なし
緑色の電源 LED が消えている。** ビープ音がない。	ワークステーションがディスク時停止中、つまり「スリープ」モードになっています。	なし
緑色の電源 LED が 1 秒間隔で 3 回点滅する。** ビープ音がない。	ワークステーションが Suspend to RAM モード (一部のモデルのみ) または通常の一時停止モードになっています。	なし
緑色の電源 LED が 1 秒間隔で 4 回点滅する。** ビープ音がない。	ワークステーションがディスク時停止中、つまり「スリープ」モードになっています。	なし
LED とビープ音が次の状態の場合、ビープ音はシャーシのスピーカーから聞こえます。点滅とビープ音は 5 回繰り返された後は、点滅だけが続けて繰り返されます。		
電源 LED が赤く、1 秒間に 1 回ずつ、2 回点滅し、その後 2 秒間停止する。ビープ音が 2 回鳴る。	<p>以下のいずれかの理由により、プロセッサの過熱防止機能が作動しています。</p> <p>ファンの動きが阻害されているか、回転していない。</p> <p>または</p> <p>放熱板/ファン アセンブリがプロセッサに正しく取り付けられていない。</p>	<p> 注意 システムがオフの場合でも、内部コンポーネントの電源が入っている可能性があります。機器の損傷を防ぐため、コンポーネントを取り外す前にワークステーションの電源コードを抜いてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> ワークステーションの通気孔が塞がれていないこと、また冷却ファンが動いていることを確認します。 アクセス パネルを開き、電源ボタンを押してファンが回転しているかどうか確認します。プロセッサのファンが回転していない場合は、ファンのケーブルがシステム ボードのヘッダーに接続していることを確認します。また、ファンが適切に取り付けられていることを確認します。 ファンが接続し、正しく設置されているのに回転していない場合は、プロセッサのファンに問題があると考えられます。HP のサポートまで連絡してください。 ファン アセンブリの取り付けが正しいことを確認します。問題が解決されない場合は、プロセッサのハートシンクに問題があると考えられます。HP のサポートまで連絡してください。
電源 LED が赤く、1 秒間に 1 回ずつ、3 回点滅し、その後 2 秒間停止する。ビープ音が 3 回鳴る。	プロセッサが取り付けられていません (プロセッサの不良を示しているわけではありません)。	<ol style="list-style-type: none"> プロセッサが存在することを確認します。 プロセッサを取り付け直します。

表 4-3 診断ランプとビープ音の意味 (続き)

状態	考えられる原因	推奨処置
赤の電源 LED が 2 秒間隔で 4 回点滅し、2 秒間休止する。ビープ音が 4 回鳴る。	電源異常 (過電流が発生しています)。	 <p>注意 システムがオフの場合でも、内部コンポーネントの電源が入っている可能性があります。機器の損傷を防ぐため、コンポーネントを取り外す前にワークステーションの電源コードを抜いてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. アクセス パネルを開き、システム ボードの次の接続を確認します。 <ul style="list-style-type: none"> ● 24 ピン主電源 (すべてのシステム) ● 4 ピン CPU (xw4000 シリーズ) ● 8 ピン CPU (xw6000/xw8000/xw9000 シリーズ) ● 4 ピン メモリ (xw8000/xw9000 シリーズ) 2. いずれかのデバイスが問題の原因となっているのかどうかを確認するために、接続されているすべてのデバイス (ハード ディスク ドライブ、ディスク ドライブ、オプティカル ドライブ、拡張カードなど) を取り外します。ワークステーションの電源を入れます。POST が開始された場合は、いったん電源を切り、取り外したデバイスを 1 つずつ戻します。障害が発生するまでこの手順を繰り返します。障害の原因となっているデバイスを交換します。一度に 1 台ずつデバイスを追加し続け、デバイスがすべて正しく機能していることを確認します。 3. 電源の機能を調べます。 <ol style="list-style-type: none"> a. AC 電源を切断します。 b. 内部の電源ケーブルをすべて外します。 c. AC 電源を差し込みます。 <ul style="list-style-type: none"> ● 電源ファンが回転し、BIST* LED が点灯すれば、電源は機能しています。システム ボードに問題があることが考えられます。HP のサポートまで連絡してください。 ● 電源ファンが回転しない場合や、BIST* LED が点灯しない場合は、電源に問題があると考えられます。HP のサポートまで連絡してください。
電源 LED が赤く、1 秒間に 1 回ずつ、5 回点滅し、その後 2 秒間停止する。ビープ音が 5 回鳴る。	ビデオ用より前のメモリ エラー	 <p>注意 システムがオフの場合でも、内部コンポーネントの電源が入っている可能性があります。機器の損傷を防ぐため、コンポーネントを取り外す前にワークステーションの電源コードを抜いてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. DIMM を挿入し直します。 2. 問題のあるモジュールを特定するために、DIMM を 1 枚ずつ交換します。 3. サードパーティ製のメモリを、HP 製のメモリと交換します。 4. システム ボードに問題があることが考えられます。HP のサポートまで連絡してください。

表 4-3 診断ランプとビープ音の意味 (続き)

状態	考えられる原因	推奨処置
電源 LED が赤く、1 秒間に 1 回ずつ、6 回点滅し、その後 2 秒間停止する。ビープ音が 6 回鳴る。	ビデオ用より前のグラフィックス エラー	 <p>注意 システムがオフの場合でも、内部コンポーネントの電源が入っている可能性があります。機器の損傷を防ぐため、コンポーネントを取り外す前にワークステーションの電源コードを抜いてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. グラフィックス カードを取り付け直します。 2. グラフィックス カードに問題があることが考えられます。HP のサポートまで連絡してください。 3. システム ボードに問題があることが考えられます。HP のサポートまで連絡してください。
電源 LED が赤く、1 秒間に 1 回ずつ、7 回点滅し、その後 2 秒間停止する。ビープ音が 7 回鳴る。	システム ボードの障害 (ROM によってビデオ出力前に障害が検出されました)。	<ol style="list-style-type: none"> 1. CMOS をクリアします。 2. システム ボードに問題があることが考えられます。HP のサポートまで連絡してください。
電源 LED が赤く、1 秒間に 1 回ずつ、8 回点滅し、その後 2 秒間停止する。ビープ音が 8 回鳴る。	無効な ROM (不正なチェックサム)	 <p>注意 システムがオフの場合でも、内部コンポーネントの電源が入っている可能性があります。機器の損傷を防ぐため、コンポーネントを取り外す前にワークステーションの電源コードを抜いてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. CMOS をクリアします。 2. ROMPaq ディスケット、CD、ディスク、USB リムーバブルデバイスなどを使用して ROM をアップグレードします (例: HP ドライブ キー)。 http://www.hp.com/support/workstation_manuals にある『Service and Technical Reference Guide (サービスおよびテクニカル リファレンス ガイド)』の「ROM Flash (ROM フラッシュ)」を参照してください。ROMPaq は、ROM のアップグレードができるソフトウェア サポート ファイルのバンドルです。 3. システム ボードに問題があることが考えられます。HP のサポートまで連絡してください。
電源 LED が赤く、1 秒間に 1 回ずつ、9 回点滅し、その後 2 秒間停止する。ビープ音が 9 回鳴る。	ワークステーションの電源は入りますがブートしません。	<ol style="list-style-type: none"> 1. システム ボードに問題があることが考えられます。HP のサポートまで連絡してください。 2. プロセッサに問題があることが考えられます。HP のサポートまで連絡してください。
ワークステーションの電源が入らず、LED は点滅していない。ビープ音がない。	ワークステーションの電源が入りません。	 <p>注意 システムがオフの場合でも、内部コンポーネントの電源が入っている可能性があります。機器の損傷を防ぐため、コンポーネントを取り外す前にワークステーションの電源コードを抜いてください。</p> <p>電源ボタンを 4 秒より短く押し続けます。ハード ディスク ドライブ LED が緑色になった場合は、以下のことを行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 拡張カードを 1 枚ずつ取り外し、再度電源ボタンを 4 秒より短く押し続けます。 2. システム ボードに問題があることが考えられます。HP のサポートまで連絡してください。 <p>または</p>

表 4-3 診断ランプとビープ音の意味 (続き)

状態	考えられる原因	推奨処置
		電源ボタンを 4 秒より短く押し続けます。ハードディスクドライブ LED が緑色にならない場合は、以下のことを行います。
		<ol style="list-style-type: none"> 1. ワークステーションが、正常に機能している AC コンセントに接続されていることを確認します。 2. アクセスパネルを開き、電源ボタンのハーネスがシステムボードに正しく接続しているか確認してください。 3. 電源ケーブルのすべてがシステムボードに正しく接続していることを確認します。 4. 電源の機能を調べます。 <ol style="list-style-type: none"> a. AC 電源を切断します。 b. 内部の電源ケーブルをすべて外します。 c. AC 電源を差し込みます。 <ul style="list-style-type: none"> ● 電源ファンが回転し、BIST LED が点灯すれば、電源は機能しています。システムボードに問題があることが考えられます。HP のサポートまで連絡してください。 ● 電源ファンが回転しない場合や、BIST LED が点灯しない場合は、電源に問題があると考えられます。HP のサポートまで連絡してください。

* BIST については、ワークステーションの『Service and Technical Reference Guide (サービスおよびテクニカルリファレンスガイド)』を参照してください。

テクニカルサポートへのお問い合わせ

テクニカルサポートが必要となる問題が発生することがあります。テクニカルサポートに電話をかけるときは、次の準備をしてください。

- ワークステーションの前に座ります。
- ワークステーションのシリアル番号、製品番号、モデル名、モデル番号をメモして前に置きます。
- 該当するエラーメッセージをメモします。
- アドオンオプションをメモします。
- オペレーティングシステムをメモします。
- サードパーティ製のハードウェアやソフトウェアをメモします。
- ワークステーションの前面にある LED の点滅状態を詳しくメモします。
- 問題が発生したときに使用していたアプリケーションをメモします。
- 該当する場合は、電源 BIST の状態をメモします。
- サポート担当者と一緒に問題を解決するには、ある程度の時間が必要であることを想定しておいてください。



注記 サービスまたはサポートに電話をかけると、ワークステーションの製品番号 (例: PS988AV) を尋ねられることがあります。ワークステーションに製品番号が付いている場合、通常は、10桁または12桁のシリアル番号の隣に記載されています。

注記 ワークステーションのシリアル番号のラベルの場所については、「[通気、COA ラベル、シリアル番号ラベルに関する情報](#)」を参照してください。通常は、シリアル番号と製品番号のラベルは、ワークステーションの背面に貼られています。

世界各地のテクニカル サポートの電話番号を調べるには、<http://www.hp.com/support> にアクセスして国/地域を選択し、左上の **[Contact HP]** (HP へのお問い合わせ) をクリックしてください。

